



学校だより 令和5年1月
新宿区立四谷第六小学校
校長 岩澤 肇

【教育目標】
・自ら学ぶ子ども
・たくましい子ども
・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6>

明けましておめでとうございます

校長 岩澤 肇

昨年は新型コロナウイルスの第7波・第8波への対応の中、まさに WITH コロナという観点で学校行事を進めてまいりました。第8波がピークを迎える中での冬休みとなり、落ち着いた昨年とはまた違うお正月をお迎えになったご家庭も多かったかもしれません。いよいよ学校は3学期を迎えていきますので、一年間をまとめ、新たな年度の計画づくりへと進めてまいります。

さて、昨年末はサッカーワールドカップが行われ、日本のベスト16進出やその後の強豪国の決勝トーナメントの素晴らしい戦いが記憶に新しいところです。「ドーハの悲劇」と言われた予選敗退から、この「ドーハの歓喜」と塗り替えられるまで、日本サッカー界は「Jリーグの設立」をはじめとする様々な強化策と選手育成を長い年月をかけて行ってきました。日本のスポーツ界全体を見渡しても、ナショナルトレーニングセンターの設立等を通して、科学的な育成システムの構築を図ってきたことによって、世界的には体格で不利と言われる日本人の長所を伸ばしながら、スポーツ界全体として好成績を収められる体制を作ってきたのだと思います。

現在、教育界でも新しい時代の教育の構築に動き出しているところです。SOCIETY5.0 社会を見据えて、「GIGA スクール構想」のもと、ICTを活用した「子どもたちの新しい学び」を構築しようという歩みがこれにあたります。これも長い年月をかけて世界で活躍できる日本人を育成していくためのシステム作りであると考えられます。学校現場としては、持ち運びの重さや充電等、実用上の様々な諸課題も少しずつ改善しながら、大きな流れに沿って歩みを続けていきたいと思えます。

年は改まりましたが、本年も登校前の体調の確認と検温を引き続きお願いいたします。ご家族を含めて体調に不安のある場合に登校を控えていただくことも引き続きお願いいたします。「学校を止めない」ことを継続していけますよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【学校・家庭の連絡板について】

記入と提出ありがとうございました。ご記入いただいたことをしっかりと今後の改善に活かし、子どもたちの指導に反映させていきたいと思えます。



～楽しい学校生活のために～

これまで学校としては、保護者の皆様の御協力を得て、楽しい学校生活づくりに取り組んできています。

今回も学校として、体罰や暴力のない楽しい学校生活づくりを目指し、児童に「暴力はいけないこと」について講話を行い、各学級では楽しく学校生活を送ることができるようにするために、児童にアンケート調査を行いました。また12月には都の体罰調査アンケートを行いました。

各家庭においても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもったりするとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについて御確認ください。また、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださるよう改めてお願いします。

～4年生の窓～

4年1組担任 佐藤 健太

4年生の総合的な学習の時間(ときわぎ)では、「障害」や「高齢者」をテーマに、様々な人と「共に生きる」ということはどういうことなのかを考える学習を進めています。

先日は、本校に10年以上来ていただいている視覚障害者である丸山さんをお招きして、体験談を聞きました。盲導犬との暮らしや、普段の生活で工夫していること等、様々なお話を聞いたことにより、理解を深めることができました。

また、その後に行ったアイマスク体験では、視覚障害に関する疑似体験をしたことにより、前が見えないことの大変さや怖さ等を感じ、障害のある人を支えることの意義や大切さについて更に理解を深めることができました。